

北河内ブロック 2019年度 子ども会スポーツ大会(ドッチビー)

11月24日(日)、守口市東部エリアコミュニティセンター多目的ホールで北河内ブロック子ども会スポーツ大会(ドッチビー)が開催されました。北河内ブロックの4市から、約120名の子どもたちが集まり、低学年と高学年に分かれて熱戦を繰り広げました。

子どもたちは大会を通じ、チームの皆で力を合わせることを学ぶとともに、他市の子どもたちとも交流を深め、思い出に残る大会となりました。



試合は白熱! でも終了後にはみんなトモダチ!



泉南ブロック 2019年度 こども親善交歓大会(グランドゴルフ)

令和元年10月27日(日)、熊取町民グラウンドで「こども親善交歓大会(グランドゴルフ)」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、岸和田市以南の4市2町の子も94名、育成者17名の合計111名が参加し、午前中は8ホールを2ラウンド行いました。昼食後はホールインワンゲームを行い、ホールインワンした順に景品をゲットしていました。初めてクラブに触る子どももいましたが、終わるころには立派なグランドゴルフファーになっていました。



様になってます!



団体優勝「阪南市こ連」が優勝しました!

INFORMATION

◆大阪府子ども会表彰式

2020年1月19日(日)14時~15時
ホテルプリムローズ大阪2階鳳凰(東)
・大阪府優良子ども会表彰
・一般財団法人大阪府子ども会育成連合会表彰
・公益社団法人全国子ども会連合会表彰伝達

◆大阪府子ども会大会(ドッチビー大会)

2020年2月8日(土)
八尾市立総合体育館(ウイング)
受付9時30分/開会式10時/大会終了予定16時

◆安全共済会加入説明会

2020年2月19日(水)13時~17時
ドーンセンター

編集後記 今年もあっという間に1年間が終わろうとしています。振り返ってみると元号が平成から令和へ変わり、お祝いムードが漂っていましたが、異常気象によって各地に大きな自然災害が発生しました。社会全体を見渡しても暗いニュースが多かったように感じます。そんな中でも前号でコメントしましたようにスポーツ界での明るい話題が目立った1年だったなあと思います。

編集委員
レポート

こども会の力 意外!?に盛り上がってます~オセロ大会~

昨年は大阪北部地震の影響を受け中止としたオセロ大会でしたが、今年度は無事開催することができました。学年ごとに予選リーグを行い、決勝に進めば、トーナメント方式で優勝者が決まります。

予選では、様々なゲームが繰り広げられます。全滅してしまい盤上が真っ白や真っ黒なこともまれな事ではありません。パスをするしかなく、ひたすら同じ子が打ち続けていたり。(打てる所がある限り、打ち続けるルールです) 負けるのが悔しくて泣きながら石をはねのける子。じっくりじっくり次の一手を考え込む子。(ちなみに15秒で次を打つように促しています) 劣勢だった子が、なぜか優位な色の石に変わってしまっていたり?? (笑)

高学年の決勝になるとさらに白熱してきます。審判の大人の目にも止まらぬスピードで展開するゲーム。トーナメント方式のため引き分けが続ぎ、勝敗が決まるまで何ゲームも行ったりもします。本当にいろいろな事がおきます。大人の思いもよらない出来事が満載です。審判をしながらそんなところに打つんだ?と思いながら見てみると、3手先で逆転したりします。逆転のための布石だったんですね。それぞれの子どもたちの発想力、想像力に驚かされてばかりです。

オセロはやったことがあっても、ルールを決めて勝敗を決めることはなかなかご家庭ではないことなので、事前に審判の方へはルール説明会を開催していますが、力量不足で伝えきれないことの方が多い気がします。

子ども達からは「決勝に行きたかった~」や「来年はリベンジだ!」「今年は賞状もらえた~」なんて声が聞こえてくると本当に嬉しくなりますね。

また来年、どんな事が起こるかドキドキ、わくわくしながら子どもたちを迎えたいと思います。

交野市 上田雅美



「こども会大阪」は社会福祉法人 大阪府共同募金会・パナソニック株式会社などのご協力で作成しています。

こども会大阪 OSAKA

Osaka Prefectural Federation of Children's Associations

No.336
2019
12月号

しっかり連携! 名古屋っ子を健全育成! 名古屋市子ども会連合会

名古屋市との各種事業活動における連携



楽しみながら
環境や資源のこと
勉強になるね!

打ち水大作戦

皆さん、こんにちは! 名古屋市子ども会連合会です。

名古屋子連は、今から54年前の昭和40年に発足し、現在まで、市内各区、学区の子ども会がそれぞれ地域に根ざした「子どもの手による子ども会」をめざし、特色ある活動を行っています。

現在、名古屋子連の会員数は7万人(※全国子ども会安全共済会加入者数)ほどおり、各地域での子ども会活動とともに、名古屋子連として、次に紹介するような、さまざまな活動も行っています。

名古屋市では地域ぐるみで様々な活動を行っていますが、名古屋子連として、これら名古屋市が行う事業の趣旨に賛同し、連携して行っている4つの活動を、今回ご紹介したいと思います。

まず1点目は、都市美化活動です。名古屋子連は、名古屋市都市美化連盟に加盟しており、「全市一斉クリーンキャンペーン」に積極的に参加しています。

今年度も、子ども会をはじめ地域のさまざまな方と一緒に、清掃活動を通じて、地域との絆を深めることができました。

次に2点目は、名古屋市では、水の大切さやヒートアイランド対策を考えるきっかけとして、「打ち水大作戦」と銘打った事業を展開しており、この「打ち水大作戦」の運営に協力しています。

今年度も、多くの子どもが参加し、楽しみながらも、水の循環や水資源の有効利用について考えるきっかけとなったのではないかと思います。

次ページへつづく ➡



- こども会全国行脚 名古屋子ども会連合会
- 第53回 全国子ども会育成中央会議・研究大会
- 近畿地区子ども会大会
- 功労表彰、おめでとうございます!
- 2019年度 大阪府子ども会育成者研修
- 「子ども会育成カード」を活用してもらうには?
- 北河内ブロック子ども会スポーツ大会
- 泉南ブロックこども親善交歓大会
- こども会のカタチ/INFORMATION

一般財団法人大阪府子ども会育成連合会

大阪市浪速区幸町2丁目7番3号 リそな・アルテ桜川ビル2階
TEL 06(6561)0051 FAX 06(6561)0053
Eメール fukodomo@oak.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.fukoren.sakura.ne.jp/>

しっかり連携！名古屋っ子を健全育成！

名古屋子ども会連合会

さらに3点目ですが、名古屋市では、愛知県警察とともに、交通事故減少への取り組みとして交通安全市民運動を実施しており、名古屋市子連も市内16区で、同じ日・同じ時間帯に「全市一斉交通キャンペーン」を行い、自動車の運転者へ交通安全の呼びかけを行っています。この行事をきっかけに、子どもから親、祖父母といった家族へ、交通ルールを守ることの大切さを伝えてもらっています。

特にこの名古屋市子連の活動は、名古屋市長や名古屋市副市長にも評価いただいており、子ども会とともに、市長や副市長も一緒に参加して呼びかけを行っています。

最後に4点目は、名古屋市では、平成26年度より、日本で初めての取り組みとなる、常勤カウンセラーをはじめとする専門職を学校現場に配置し、教員とともに児童生徒が抱える問題の未然防止や早期発見、個別支援を行う「なごや子ども応援委員会」を設置しています。

平成28年度より、名古屋市子連では、子どもや各家庭、地域の実情に詳しいという子ども会の強みを活かし、この応援委員会の『サポーター』として協力しています。

「子ども応援委員会」を設置している名古屋市教育委員会が行う、守秘義務や子どもとの関わり、子どもの心理など、3回コースの研修を受けて、『サポーター』として認定されます。

現在、名古屋市子連の育成者・指導者230人ほどが、この『サポーター』となっています。

研修の受講後は、無報酬のボランティアとして、子ども会活動や日々の生活の中で、地域の子どもの様子を気になることがあれば、「子ども応援委員会」へお知らせします。

このように、名古屋市子連では、名古屋市が行う地域ぐるみの活動に賛同し、積極的に連携を図っていくことで、子ども会活動に理解を図ってもらうとともに、子ども会の育成者・指導者として、名古屋市の子どもの健全な育成のため、少しでも力になれるよう、日々努めています。



クリーンキャンペーン

ピカピカになってうれしい!



交通ルールを守って安全なまちにせよ!

交通キャンペーン

第53回

全国子ども会育成中央会議・研究大会開催

2019年10月4日(金)～6日(日)2泊3日 倉敷市文芸館・倉敷アイビースクエア他

テーマ 「未来の子どもたちのためのこども会活動
～あなたは子ども会の意義を語れますか?! 語っていますか?!～」

こども会を取り巻く環境が激しく変化する中、こども会活動を続けるためには、その存在意義を問い、未来のこども会の在り方を考えねばなりません。

こども会は家庭や学校では与えることが困難な、しかし子どもの発達にとって不可欠な経験を与えることを目的としています。地域を基盤とした異年齢の集団ですので、地域の諸機関や諸集団とも連携を保ちながら活動を進めていくことが大切です。

近年、親同士や近所同士の付き合いが少なくなり、親が「役員をやること」「夜会合などに出かけること」などを負担に考えています。時代にあったこども会のしくみを考えていくことが新しい地域やまちづくりにつながっていくのかもしれない。

また、役員を経験した育成者たちに聞くと、子どもやこども会を通じて「地域とのつながりが持てた」「地域のことがより理解できた」など、こども会活動は、大人にとっても有意義であることがわかります。このような子ども会活動の意義をより広く周知していく必要があるのです。



プログラム

1日目: 開会式、表彰式(下記)、講演、受賞者を囲む会・情報交換会

基調講演 「今、家庭・家族に必要なものー家庭に笑顔がありますかー」

岡山県青少年健全育成促進アドバイザー／岡山学芸館高等学校保護者教育相談員 森 美智子氏

2日目: 分科会、分科会発表、映画鑑賞、講演、閉会式

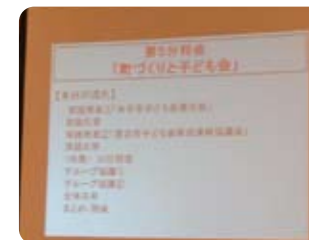
10の分科会に分かれ事例発表やグループ討議や情報交換をしました。

映 画 「キセキの葉書」

阪神淡路大震災から半年。難病の娘と、認知症とうつ病を併発する母に挟まれながら、逆境の中を明るく朗らかに勇敢に勝ち抜いたひとりの女性の物語

記念講演 「可能性の扉を開けて」 キセキの葉書 原作者 脇谷みどり氏

プロフィール 脳性麻痺の娘の介護をしながら、うつ病の母を励ますために、一日一枚の絵ハガキを13年間送り続ける。1978年、岡山市民童話コンクールにて受賞し、その頃から童話・作詞など書き始める。2000年からは介護の日常を明るく綴った新聞「風のような手紙」を毎月発行、口コミで愛読者を広げる。現在西宮市のさくらFMで「風のような手紙」(毎土曜日)のパーソナリティを務めている。



3日目: 視察研修(4コースに分かれ倉敷等の視察)

祝 全国こども会連合会表彰

地域のこども会活動を長年支えて頂いた方々に対し表彰を行いました。

- 指導者・育成者 酒井勝将さん(茨木市) 村田俊明さん(東大阪市)
- こども会 沢良宜西こども会(茨木市)
- シニアリーダー組織 島本町リーダークラブ(島本町)
- 指導者組織及び育成者組織 藤井寺市こども会育成連絡協議会

受賞おめでとう
ございます

(敬称略・順不同)

※指導者・育成者以外は大阪府こども会表彰式にて伝達表彰させていただきます。



酒井勝将さん

村田俊明さん

2019年度 近畿地区子ども会大会が開催されました!

11月30日(土)、12月1日(日)の二日間にわたって2019年度「近畿地区子ども会大会」が開催されました。一日目は、琵琶湖ホテルにて育成者大会(近畿地区子ども会表彰式・基調講演・情報交換会)が実施され、二日目は、大津市民会館にて「子ども会笑学校」が開催され、地域の方々との交流の中で大いに学び、楽しい時間を共有することができました。

1日目 基調講演 「夢のある地域に向けて～未来の子ども会のカたち～」

講師：信州大学学術研究院教授 河村 隆氏 (全国子ども会連合会理事)



信州大学繊維学部 機械・ロボット学科の教授と「子ども会」が結び付きませんでした、プロフィールを拝見してその関わりの長さ、深さに驚きました。山口県生まれの河村先生は8歳の時子ども会に入会され、中学生で単位子ども会の会長を務め、その翌年にはジュニアリーダーとして町の子ども会ジュニアリーダーズクラブを設立、会長を務め、高校生では山口県子ども会ジュニアリーダーズクラブの会長として活躍されました。その後も全子連青年リーダー、山口県子ども会シニアリーダーズクラブ会員と途切れることなく子ども会活動に貢献を続けられ、全国子ども会連合会理事として今日に至っております。

正に「子どもの手による子ども会」を自ら実践して来られた方です。

河村先生の「子どもの知的能力や運動能力の基礎を育む上で、幼い頃から異年齢で群れ遊ぶという体験は欠かせないものであり、子ども会活動がまさにそのような機会となっているという認識を、子ども会に関わる者の共通認識とする必要がある。」この言葉は、未だ子ども会活動への参加を躊躇されているご家庭に一番お伝えしたいと思いました。

子ども会活動は、月2回以上の活動(集まり)を長期的に続けることにより「参加させられている」のではなく「進んで参加している」と感じることができる。そのためには少し発想をかえて、もっと少人数からでもできる日常的な集団遊びを仕掛けていくこともよい。何より子ども達が自身で「考え」「話し合い」「準備し」「実施する」ことが子どもの成長に繋がり、その「自由な発想」「自由な計画」を培う場が子ども会であることを改めて認識しました。

親は自分の子どもしか見ない。「近視眼的」ではなく、周りを見渡す能力を培い次世代のリーダーを育成することで子ども会の活動が継続し、さらに充実していく。子ども会の目的達成のため地域において子どもから大人、高齢者、NPO法人等までをつなぐソーシャルネットワークとしての子ども会という新たなカタチが見えたと感じる講演でした。

おめでとうございます!

2019年度 近畿地区子ども会連絡協議会表彰

※大阪府

柏原市子ども会育成連絡協議会 会長 青木 宏之 様 (表彰式出席)

熊取町子ども会育成連絡協議会 監事 佐古 員規 様 (表彰式出席)

守口市青少年育成指導員連絡協議会 相談役 七条 正明 様

河内長野市子ども会育成連合会 会長 竹内 章哲 様



佐古 員規 様 青木 宏之 様

2日目

遊びの子ども会笑学校

三日目の「子ども会笑学校」での様子をご紹介します!

なんと屋内では28ものブースで様々な遊びが体験でき、屋外では琵琶湖で釣り体験もできました!

子どもも大人も真剣に取り組んだ後は、笑顔がはじけていましたよ!

真剣な表情が印象的でした

入学式のあとの「わくわくステージ」では日本けん玉協会滋賀県支部の子どもの見事な技に大きな拍手と歓声!!



みんな笑顔!

小ホールではボルダリングに挑戦できるコーナー(日本ボーイスカウト滋賀連盟)や紙トンボ(奈良県こ連)、けん玉体験(日本けん玉協会)に夢中!



炭酸ガスロケット発射!

(堅田学区子協)

なんと!!入浴剤のバブとお水をフィルムケースに入れるだけ! 大きな音にビックリ!



楽しみながら! 防災クラフト

(海南市リーダーズクラブ)

紙を折って作るお皿や容器に挑戦です。大人は折り紙に四苦八苦!



お絵描き光るうちわ

(湖南ブロック子連)

花火の模様に思い思いの色を塗ったり、模様を付けたり。できあがれば「スイッチオン!」キラキラ光るうちわにニンマリ!



子どもたちの個性がキラリ! 缶バッジ作り

(大阪府こ連)

大人も子どもも夢中で絵を書いたり色を塗ったり! 出来上がりに満面の笑み!



華麗(カレー)なコラボが実現!

調理実習室

日本赤十字滋賀県支部の方がビニール袋でお米をホッカホカご飯に変身させると江崎グリコさんがその上にカレー(非常食レトルト)をそのままかけて「あったか〜い非常食」の完成! 美味しい!



功労表彰、おめでとうございます！

**2019年度 文化の日の大阪府教育委員会
教育功労表彰(11月7日表彰)**

個人 堺市こども会育成協議会 会長 飛石 隆男 様

おめでとう
ございますー！



**2019年度 青少年育成大阪府民会議
青少年育成功労者等表彰(11月6日表彰)**

個人 高槻市こども会連合会 会長 溝部 れい子 様

個人 堺市こども会育成協議会 研修部長 南條 純一 様

団体 守口市青少年育成指導員連絡協議会 木村 剛久 様 (代表出席)



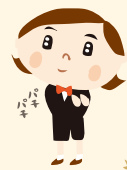
溝部 れい子 様



南條 純一 様



木村 剛久 様



2019年度 大阪府こども会育成者研修レポート

距離感を大切に(大人の関わり方)

2019年11月17日(日)、大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)にて「すぐに役立つ!体験型!今の子どもたちや保護者が参加してみたいと思う事業づくり」をテーマに府内市町こ連から18名、スタッフも含めて29名で研修会を開催しました。

前回「楽しく、分かり易い講義」と好評だった赤木 功氏(府こ連評議員、NPO法人NAC理事)を今回も講師にお招きし、和気あいあいとした雰囲気の中で貴重な時間を共有できました。

午前は自己紹介を促すゲームで一気に参加者の距離が縮み、教室内でもできるチームビルディングのゲームでは「行動」(やらされてる感)に「気づき」が加わり、「考動」(やってる感)へと変化することを学びました。そしてこの「気づき」を体験させることができる場が「地域活動(子ども会)」です。子ども会活動の中で子どもたちが「気づき」を体験するには、大人(育成者)の関わり方が大変重要となります。依存→半依存→半自立→自立へと子どもたちをどのようにして導くかを今回の研修会では参加者が子どもの目線で体験しながら学ぶことができました。

午後からの「ワールドカフェ」では4班に分かれて「子どもたちや保護者が参加したくなる事業」を思い思いに書き出しました。皆さん生き生きとした表情で書いておられたのが印象的でした。

育成者の方々に一人でも多くご参加いただくことを今後の課題として次回を計画いたしますので今後ともよろしくお願いいたします。

研修テーマ 「すぐに役立つ!体験型!今の子どもたちや保護者が参加してみたいと思う事業づくり」

- 1) 子ども(青少年)の現状 ➡ 子どもを取り巻く環境の変化
- 2) 自己紹介を促すゲームのあれこれ ➡ 距離感を大切に(大人の関わり方)
- 3) 教室内でもできるチームビルディング
- 4) 最近流行りの活動紹介・体験
- 5) プログラムの立案(デザイン)
- 6) 実践!!プログラム立案(デザイン)
「ワールドカフェ」➡ 子どもが参加したい事業・保護者が参加させたい事業・来年度「やってみよう」事業
- 7) より魅力のあるこども会活動のために ➡ ジュニアリーダーの育成(事例紹介)



講師の赤木氏



研修終了後の情報交換会では、皆さん、楽しそうに交流されていました。また新たなつながりが生まれたことでしょう！

近畿地区子ども会連絡協議会

「子ども会育成カード」を活用してもらうには？

こども会の活性化のため、企業や団体のご協力を得て2018年6月に子ども会育成カードの発行を開始してから、約1年半が経過しました。ところが、まだこのカードの利用が進んでいないということがわかり、どれくらい周知されているのか、どのような課題があるかなど、調査・検証を行い、対策を検討することになりました。



発行から現在までの推移と課題

【1】発行

2018年6月、近畿地区子ども会連絡協議会において夢のある地域の実現に向けて「未来の子ども会のカたちをつくろう!」というプログラムがスタートしました。

この新事業の柱が3つ

- ①子ども会育成カード(SHOWN Card)の発行
- ②防災まちあるきプログラムの実施
- ③子ども会大会(子ども会笑学校)の開催

【2】「子ども会育成カード」の利用促進

近畿地区で活動する子ども会であることを証明するカードとして、近畿各府県の市町村行政等を通じて、単位こども会代表者へ1枚ずつ配布。

カードの提示で、子ども会活動に協賛している企業・団体・施設等の優待が受けられますが、その具体的な利用方法は、会長会議で説明し、利用可能な施設等は、ホームページ等で提示しました。

【3】効果検証

大阪府内での認知度を確認するため、2019年7月3日実施の市町こ連会長会議において、出席された会長へヒヤリングしたところ、下記のような問題点があることがわかりました。

- ①カードがすべての単位子ども会にまで行き渡っていない(引継ぎできていない)
- ②肝心な子どもにカードの魅力が伝わっていない
- ③特典の中身がわかりづらい 等々

【4】対策検討

2019年7月9日実施の近畿地区子ども会連絡協議会「第1回地区推進研究会」において各府県の推進研究会メンバーで協議し、単位こども会へのアンケートを実施することが決まりました。

目的は

- ①単位こども会のメンバーの生の声を拾い上げる
- ②それによって本当に望んでいる特典等をつかむ
※各府県でのイベント等でアンケートを実施・回収・集計する(1年かけて)

【5】第1弾アンケート実施

2019年12月1日近畿地区子ども会大会「子ども会笑学校」(滋賀県大津市)にてアンケートを実施。滋賀県のスタッフが子どもから大人までに声掛けをして多数の方々の声を集めてくださいました。

【6】第1弾アンケート結果

今回、滋賀県での子ども会大会で幅広い年齢層の方々からアンケートの回答をいただきました。その結果から少しだけ見えてきたのが、カードの使い勝手が悪いこと、言い換えれば各単位に1枚だけなので使い回しになり、カードの存在そのものが遠く感じられているのではないかと、ということです。今はスマホで何でもできる時代なので、特典云々よりも利便性の向上が先なのかもしれません。周知の問題と併せて今後検討が必要になることと思われます。

